

年 組 名前：

北杜市高根町清里の清泉寮敷地内で、「ヒマラヤの青いケシ」と呼ばれるケシ科の多年草メコノプシスが開花した。見頃は2日ごろまで。

清泉寮によると、メコノプシスは標高3000～4000mのヒマラヤ地方や中国南西部などの冷涼な高山地帯に自生。暑さに弱く、生育条件が厳しいことから「幻の花」とも呼ばれる。今年は約160株を植えていて、昨年より3日遅い5月29日に開花。かれんな青い花を咲かせている。

清泉寮では2009年に栽培を開始。18年により良い生育環境の場所に移設し、現在は標高約1500mの場所で育てている。今月22日まで見学を受け付けている。

見学料は500円（未就学児は無料）。午前10時～正午、午後1～3時。火曜定休。希望者は八ヶ岳自然ふれあいセンターで地図を受け取り、徒歩で公開場所を訪れることができる。問い合わせは清泉寮、電話0551(48)2626。

## 「幻の青いケシ」開花

北杜・清泉寮でメコノプシス見頃



QRコード  
から動画を  
見られます



清泉寮敷地内で咲いたメコノプシス（北杜市高根町清里）（4日撮影）

(2025年6月10日付 山梨日日新聞 15面)

### 問1

北杜市清里の清泉寮敷地内で開花した「ヒマラヤの青いケシ」の正式名称を教えてください。

.....

### 問2

本来であれば、どのような場所で自生している花ですか。

.....

### 問3

「ヒマラヤの青いケシ」は、なぜ「幻の花」と呼ばれているのですか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.